

基本目標1. 確かな学力の育成に向けたICTを活用した効果的な指導の充実		年間スケジュール(案)											
(5) 効果的で工夫あるプログラミング教育の推進		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
より効果的なプログラミング学習の研究と実践	「草津モデル」をもとに、小学校1年生から中学校3年生まで、発達段階に応じたプログラミング学習を実施します。 「草津モデル」を基に、より効果的なプログラミング学習について研究し、Pepper社会貢献プログラムが終了する令和5年度以降のプログラミング学習を効果的に実践できるようにします。	(随時) 「草津モデル」によるプログラミング教育の実施、より効果的なプログラミング学習についての研究								草津市プログラミングコンテストの実施	草津市プログラミングコンテスト表彰式及び発表会の実施	「草津モデル」の改訂	「草津モデル」(改訂版)の周知
(6) 遠隔授業による学びの充実		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
草津市の実践、国や先進自治体の事例の整理・収集と各校への周知	「英語教育オンライン授業」を継続するとともに、これまでの草津市の実践、国や先進自治体の事例を整理・収集して各校へ周知し、学びの充実を図ります。	(随時) 国や先進自治体の事例の整理・収集、各校への周知								英語教育オンライン授業の実施			
遠隔授業が可能な施設や団体についての情報収集とリスト化	遠隔授業が可能な施設や団体について情報収集を行い、学校のニーズに応えられるようにリストを作成します。	遠隔授業が可能な施設や団体について情報収集、学校のニーズの把握							遠隔授業が可能な施設や団体のリスト化		リストの学校への周知		
(7) 非常時における学びの保障		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
モバイルルータを貸与する事業の実施	インターネットを活用した家庭学習ができるよう、必要に応じてインターネット環境がない家庭等にモバイルルーターを貸与します。	利用登録者の更新 (随時) 貸出し、通信費の請求											
優良事例の収集及び研修会の実施	非常時のオンライン授業の質的向上を図るために、優良事例を収集して実践動画や実践事例にまとめ、全校へ共有します。また、市教委主催の研修会で、年1回以上オンライン授業についての研修を行います。	市教委主催の研修会での研修の実施 (随時) 優良事例の収集、実践動画の作成											実践事例集・動画集の作成、周知
業者との連携、通信状況の安定化および端末やネットワークの設定の適正化	保守業者やネットワーク整備業者と連携し、通信状況の安定化および端末やネットワークの設定の適正化を図ります。	(随時) 業者との連携、定例会(月1回)の実施、通信状況の安定化および端末やネットワークの設定の適正化											

■到達目標		R2	R3	R4	R5	R6	R7
学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う児童生徒 (全国学力・学習状況調査より)	目標値			95%			95%以上
	実績値		小95.0% 中94.0%				
電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすいと思う児童生徒 (児童生徒アンケートより)	目標値			93%			95%以上
	実績値	92.3%					

基本目標2. 多様で変化の激しい社会を生き抜くための情報活用能力の育成と情報モラル教育の推進		年間スケジュール(案)											
(1) 情報活用能力の育成		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・ 情報活用能力系統表の見直し	「小学校・中学校において身に付けさせたい情報活用能力系統表」について新学習指導要領に合わせた見直しを行います。	●	(随時) 国や先進自治体、他機関の情報収集、整理										→
・ 好事例の収集・共有	教科ごとの特質に応じた指導内容の事例等を収集します。		● 市教委主催の研修会での周知	(随時) 効果的な活用方法の調査・研究、実践事例の収集・整理									→ 実践事例の周知
(2) 情報モラルに関する指導の充実		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・ 実施計画の集約、優良事例の収集・周知	各校から情報モラルに関する学習活動の実施計画を集約します。	● 年度初研修会の実施		(随時) 効果的な活用方法の調査・研究、実践事例の収集・整理									→ 実践事例の周知
・ 保護者向け研修・啓発の実施	情報モラルや機器の使用にかかるルール等の啓発動画を作成し配信することで、ルールを家庭とも共有します。	●	啓発動画の作成			活用について学校への周知	●	啓発動画の家庭への周知					→

■到達目標		R2	R3	R4	R5	R6	R7
様々なメディアから必要な情報を選び出し自分の考えを効果的にまとめることができる児童 (小学6年生) (児童生徒アンケートより)	目標値			80%以上			80%以上
	実績値		未測定				
TPOに合わせ、メディアを効果的に活用、表現することができる生徒(中学3年生) (児童生徒アンケートより)	目標値			80%以上			80%以上
	実績値		未測定				
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている児童生徒 (全国学力・学習状況調査より)	目標値			71%以上			75%以上
	実績値		小70.2% 中66.3%				

基本目標3. 教員のICTを活用した指導力を高めるための研修および支援体制の充実		年間スケジュール(案)											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 教育情報化リーダーの育成													
・ 研修の実施(年5回程度)	ICT活用、情報活用能力の育成、プログラミング的思考の育成等に関する校内研究をマネジメントするリーダーを育成するための研修会を年5回程度、実施します。	第1回研修会の実施	第2回研修会の実施			第3回研修会の実施			第4回研修会の実施			第5回研修会の実施	
・ リーダーによる校内研修会の実施(年3回程度)	教員一人一人のICT活用能力向上のために、自校の強みを伸ばし課題を克服する研修会を年3回程度、実施します。	●	→		●	→		●	→				
(2) 教員間におけるICT活用格差の解消													
・ ステージ別ICT実技研修の実施(年2回程度)	希望する教員を対象に、一人一人の更なるICT活用指導力向上を図るため、それぞれのステージに応じたICT実技研修を年2回程度、実施します。		第1回初任者向け研修会 第2回中級者向け研修会			第2回初任者向け研修会 第2回中級者向け研修会							
・ 市外からの転任者向け研修会の実施(年1回程度)	市外からの転任者を対象に、草津市のICT教育(ハード、ソフト)の理解を深めるための概要説明と、1人1台端末を効果的に活用した授業を展開するための実技研修を実施します。	研修会の実施											
・ オンライン相談の実施(随時)	教員のICT活用指導力の底上げを図るため、希望に応じて随時問い合わせを受け付けるオンライン相談会を実施します。	●											→
・ グループウェアの活用(随時)	グループウェアの機能を活用し、教員間の学び合いを促進することにより指導力の向上を図ります。	●											→
(3) ICT支援員とヘルプデスクの設置													
・ ICT支援員の訪問支援(1校あたり月2回程度)	各学校の教員の実状やICT活用状況等を勘案しつつ、具体的な指導事例の提案や研修支援を進めます。また、学校のニーズに合わせた支援員の弾力的な配置を行います。	●											→
・ ヘルプデスクの運用	教員のICTの利活用促進のため、各種ソフトや端末の操作方法等の相談や機器のトラブル対応を行い現場の教員の負担を軽減します。	●											→
(4) ICTスーパーバイザー、スキルアップアドバイザーに図る指導力の向上													
・ ICTスーパーバイザー、スキルアップアドバイザーの訪問指導	ICTスーパーバイザーが各校を訪問し、「New草津型アクティブ・ラーニング」の内容に沿った指導・助言を行い、教師の個別最適な学びのまとめ役としての能力の向上を図ります。スキルアップアドバイザーは、教員のICT活用指導力向上を図るため、ICTを活用した授業の指導助言や授業支援、技術支援を行います。	●											→
・ 優良事例の収集と周知	教師の個別最適な学びのまとめ役としての能力の向上を図るために、優良事例を収集して実践動画や指導案等を実践事例集にまとめ、全職員に共有します。	●											→

到達目標		R2	R3	R4	R5	R6	R7
授業にICTを活用して指導する能力について肯定的に回答する教員 (文部科学省 調査より)	目標値			90%以上			90%以上
	実績値	80.6%	R3.3測定予定				

基本目標4. 校務のデジタル化を通じた教育の情報化と情報セキュリティマネジメントの推進		年間スケジュール(案)											
(1) 学校・保護者・地域との連携手段のデジタル化の推進		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・ デジタル化の調査・研究、アプリの検討	各校の欠席連絡やアンケート調査のデジタル化を進めます。	初期設定と利用者の登録	(随時) Formsによる「欠席連絡」の実施、より効果的で利便性の高いものに改善										
・ グループウェアを活用したデジタル化の推進	現在使用しているTeamsを活用して、掲示板の運用や情報共有サイトによるデータの利活用を推進します。	校長会等でICT活用の促進呼びかけ	(随時) Teamsによる掲示板および学習教材等の情報共有サイトの運用										
・ 一斉メール配信システムの運用	現在の一斉メール配信システムにURLを添付してするなどして、より多機能で利便性の高いシステムの活用を推進します。	市教委主催でICT活用の研修会を実施	(随時) 受信メールからFormsによるアンケート機能やTeamsによるテレビ会議の活用、より効果的で利便性の高いものに改善										
(2) 校務のデジタル化の推進		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・ 校務支援システム、自動採点ソフト等のAIを活用したソフトウェアの調査・研究	自動採点ソフト等のAIを活用したソフトウェアについて中学校での調査・研究を進めます。		運用準備(教員への研修会等の実施)				実証校による調査・研究、実践事例の収集						
・ Web研修会・会議の実施	会議・研修会毎の議題や特性を鑑み、可能なものからテレビ会議システムを利用したオンライン化の支援を行います。	校長会等でICT活用の促進呼びかけ	(随時) テレビ会議システムを活用した会議・研修会の実施および支援										
・ ペーパーレス化の推進	会議資料や教育委員会発出の学校あて文書やFAXについて、可能なものからグループウェアを活用したデータの配布・回収を進め、ペーパーレス化を推進します。	校長会等でICT活用の促進呼びかけ	(随時) Teamsによる掲示板およびファイル共有機能の活用										
(3) 情報セキュリティマネジメントの推進		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・ 学校情報セキュリティに関するガイドラインの見直し(随時)	教育情報セキュリティポリシーガイドライン(文部科学省)に則り、教育現場の実態や他機関の動向、技術的な進展等を踏まえた学校情報セキュリティガイドラインの見直しを随時行います。			学校教育セキュリティ見直し及び	(随時) 国や先進自治体、他機関の情報収集、整理								
・ 研修の実施	教職員の情報セキュリティに関する意識の醸成を目的とした研修機会を実施することで、児童生徒、教員が安全安心にICTを利用するための情報セキュリティ対策を推進します。			研修プロジェクトチーム結成		プロジェクトチーム会議①			研修会の実施				プロジェクトチーム会議②

■到達目標		R2	R3	R4	R5	R6	R7
学校との連絡手段等のデジタル化・ペーパーレス化が進み、利便性が向上したと思う保護者(保護者アンケートより)	目標値			80%以上			80%以上
	実績値		未測定				
校務のデジタル化が進み、業務負担が軽減されたと思う教職員(教職員アンケートより)	目標値			80%以上			80%以上
	実績値		未測定				
情報セキュリティ事故の発生件数	目標値			0件			0件
	実績値	0件	0件(R4.2月時点)				